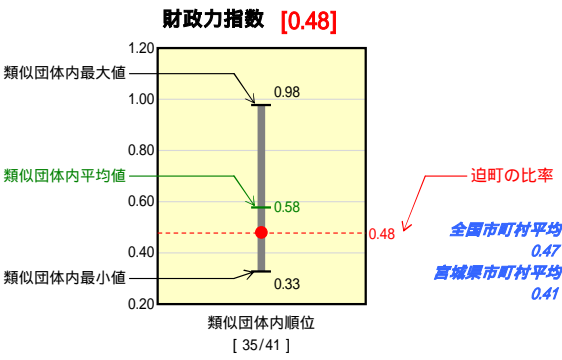


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

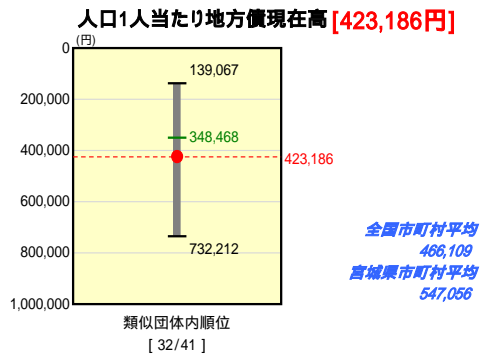
宮城県 迫町

人口	22,413人(H17.3.31現在)
面積	70.27 km ²
歳入総額	7,507,177千円
歳出総額	7,623,074千円
実質収支	-115,897千円

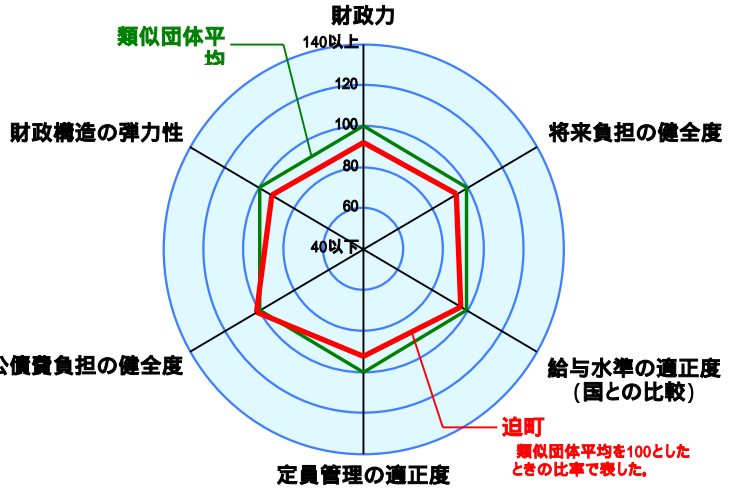
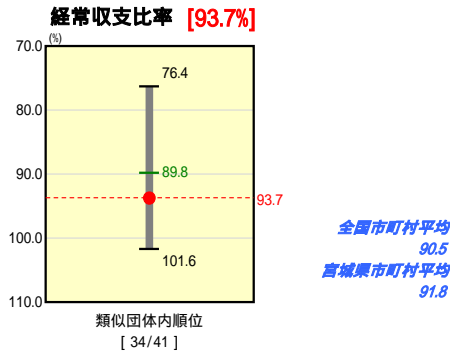
財政力



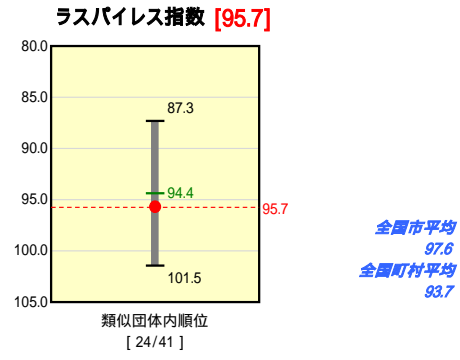
将来負担の健全度



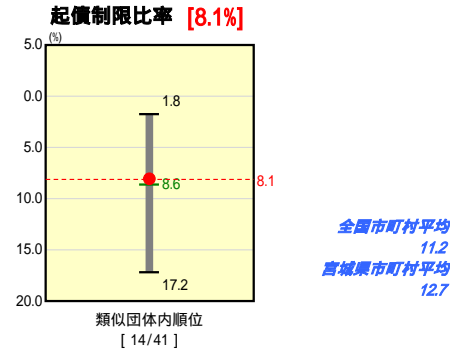
財政構造の弾力性



給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



分析欄

財政力指数
財政健全化推進計画に基づき投資的経費等の歳出抑制を図った結果、ここ3年間で連続した伸びを見せており0.48となっている。今後も歳出削減等の取組みを通して財政基盤の強化に努める。

経常収支比率
平成17年4月1日合併に伴う打ち切り決算により、本来、出納整理期間中に収入すべき歳入が新市の歳入となったことから経常収支比率が上昇した。通常年であれば、89.6%程度が見込まれるが、年々上昇傾向にある。

起債制限比率
類似団体平均をやや下回っているが、近年の推移を見ると増加の兆しが見られる。

人口1,000人当たり地方債現在高
投資的経費抑制に伴い新規発行債についても抑制等を行ってきたが、類似団体平均を若干上回っている。主な要因は、これまで実施した事業に伴う地方債現在高が大きなウェイトを占めている。今後も地方債発行を抑制し財政健全化に努める。

ラスパイレス指数
類似団体より1.3上回っている状況ではあるが、時間外手当の抑制、特殊勤務手当の廃止等歳出抑制に取り組んでいる。

人口1,000人当たり職員数
住民サービスを低下させることなく、機構改革による職員配置を見直しを行った(平成13年度～16年度8人削減)。今後も適切な定員管理に努める。
平成17年4月1日、合併により「登米市」となる

定員管理の適正度

